

ゆざわまち

あなたと議会を結ぶ架け橋

令和3年
第140号

令和
2年 12月議会

1月31日発行

議会だより

謹
賀
新
年

本年もよろしくお願い申し上げます

もくじ

11月臨時議会・12月定例会

..... P 2

開会中の常任委員会..... P 3

一般質問..... P 7

閉会中の常任委員会..... P 18

議員全員協議会..... P 21



令和2年度

11月臨時議会 一般会計補正予算

11月5日



第8号 総額1億905万円を追加

賛成全員 → 可決

歳入	保育対策総合支援事業……………	50万円
	財政調整基金繰入金……………	1億855万円
	計……………	1億905万円
歳出	財政調整基金積立金……………	△ 1,009万円
	保育備品購入……………	56万円
	有害鳥獣対策（注意喚起パトロール増）	60万円
	宿泊施設支援金……………	△ 2,851万円
	地域商品券*……………	1億524万円
	湯沢町観光協会補助金*	
	スキー場モバイルスタンプラリー	863万円
	冬花火拡充……………	1,210万円
	事前告知・PR……………	1,650万円
	公立学校情報通信ネットワーク環境整備事業	400万円
その他……………	2万円	
	計……………	1億905万円

*冬季に向けた大型誘客事業

冬季に向けた大型誘客事業

湯沢地域商品券

1月の宿泊客5万人に、2月・3月に使える2,000円の商品券を配布。

スキー場モバイルスタンプラリー

スマホ利用。3スキー場利用でアプリ内で抽選、米やリフト券など商品が選べる。

冬花火の拡充

各スキー場1回から3

回到拡充。

事前告知・PR

これらの誘客効果を高めるためのPR。

令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルス禍による減免で国保税が減、国庫の補助が増。歳出では還付金が180万円の増。本会議採決

賛成全員 → 可決

令和2年度

12月定例会

12月8日

第9号

一般会計補正予算審査特別委員会



委員長 関 忠 夫

第9号 総額1億522万円を追加

賛成全員 → 可決すべき

歳入	フィッシングパーク施設使用料……………	△ 440万円
	障がい者自立支援事業（国・県）……………	1,039万円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業……………	352万円
	保険基盤安定負担金（国保・後期）……………	412万円
	U・Iターン実現トータルサポート事業……………	280万円
	湯沢高原関連施設貸付収入……………	△ 1,500万円
	財政調整基金繰入金……………	1億1,142万円
	湯沢高原関連施設第三者借地料徴収金……………	△ 724万円
	その他……………	△ 39万円
	計……………	1億522万円
歳出	議会旅費……………	△ 161万円
	職員人件費……………	△ 1,294万円
	魚野川右岸支障木伐採……………	350万円
	U・Iターン促進住宅支援モデル事業補助金……………	137万円
	湯沢こころのふるさと基金事業……………	975万円
	障がい者自立支援事業費……………	1,386万円
	老人保護措置費……………	194万円
	介護保険特別会計繰出金……………	△ 237万円
	国民健康保険特別会計繰出金……………	764万円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業……………	352万円
	病院事業会計補助金（損失補填） 〔P04 3段目参照〕 ……………	6,166万円
	県営土地改良事業負担金……………	251万円
	がんばろう湯沢飲食・商品券……………	△ 682万円
	中央公園指定管理料……………	1,694万円
	教職員住宅修繕料……………	160万円
	長期債元金・利子……………	△ 98万円
	その他……………	565万円
	計……………	1億522万円

主な質疑

Q 保護者の判断で修学旅行を欠席した生徒はいるか。

A 3月の予定を今年度に変更した中学校の修学旅行は1名が欠席だったが、保護者の希望とは聞いていない。

Q がんばろう湯沢飲食・商品券について、届かなかった件数は。

A 58通が宛所不明で返送された。

Q 購入する資料写真の概要は。

A 町内各所の古い写真が500枚ほどデータ化されている。内容が分かるものは、年代や行事別に分類されている。

Q 魚野川右岸遊歩道の支障木伐採が増額となった要因は。

A 日陰を作るために残す予定の木が倒木の恐れがあり、伐採本数が増えた。

Q 置るのか。

A 庁舎内会議室、その他体験工房及びカルチャーセンターのキッズスペースを予定。

Q 12月は、ふるさと納税が増える傾向にあるが、今年度の状況は。

A 11月末現在2億800万円、対前年比88.4%。昨年12月に2億3,000万円あったので、今年度も同程度を期待している。

Q 空気清浄機はどこに設置

本会議審査

令和2年12月8日（議会初日）

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

・委員 4名 ・補充員 4名

各々

賛成全員 ↓ 決定

専決処分 湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正

令和2年人事院勧告に基づき、期末手当を0.05月引き下げる。

賛成全員 ↓ 承認

専決処分 湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

湯沢町職員の給与に関する条例を改正することに伴う改正。

賛成全員 ↓ 承認

専決処分 湯沢町常勤特別職（町長・副町長・教育長）の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

期末手当を0.05月引き下げる。

賛成全員 ↓ 承認

専決処分 湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

期末手当を0.05月引き下げる。

賛成全員 ↓ 承認

発議 防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書

書

・提出者 田村計久

国の「防災・減災、国土強靱化3か年緊急対策」の終了後も引き続き必要な予算を確保するとともに、地方財政措置の拡充、さらなる負担軽減をはかり「防災・減災、国土強靱化対策」の充実、強化を推進するよう強く国に要望

賛成全員 ↓ 可決

発議 拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書

・提出者 白井孝雄

拉致問題の解決に向けた進展が見られない中、今後とも拉致問題を「最優先、最重要課題」と位置づけ拉致被害者全員の即時帰国を実現するよう強く国に要望

賛成多数 ↓ 可決

反対討論主旨

佐藤守正

「圧力に重点を置きつつ、対話も視野に」と述べているが、対話を望

む言い方ではない。この政府の姿勢により事態は膠着し、時間だけが経ってしまった。

武力で被害者を奪い返すことができない以上、対話しかない。小泉首相が北朝鮮に乗り込み成果を上げたように、対等な対話以外に打開の道はありえない。

北朝鮮の国情には納得できないことが多いが、それは北朝鮮が解決することであり、それを理由に対話を拒んでは、いつまでも拉致は解決しないだろう。

開会中の常任委員会審査

総務文教常任委員会

12月8日(火) 委員長 岸野雅人

議案 湯沢町議会議員及び湯沢町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定

公職選挙法改正に伴う、議会議員と町長選挙の条例の制定。選挙運動用自動車・ビラ・ポスターなど、条文と資料による説明。

賛成全員 ↓ 可決すべき

出

・説明員 笛木 壤

2018年の陳情は賛成多数で採択。この度は請願。国連決議により、来年1月22日に発効。

請願 「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書提出

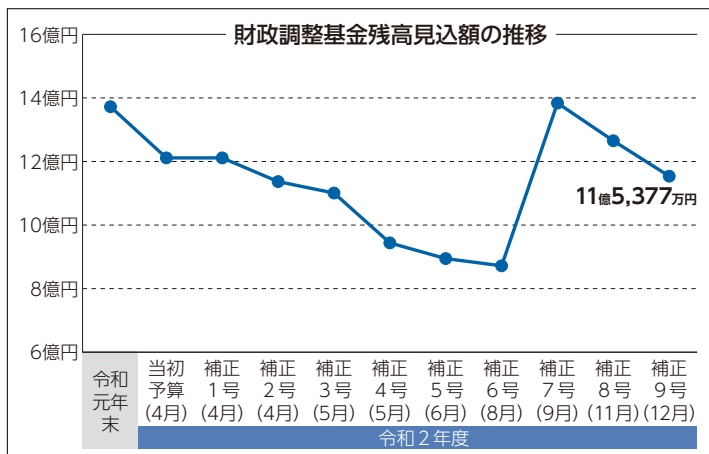
賛成全員 ↓ 採択すべき

請願 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出

出

・説明員 笛木 壤
2018年の陳情は賛成多数で採択。この度は請願。国連決議により、来年1月22日に発効。

財政調整基金残高見込額の推移



Q 批准は何か国か。

A 50カ国。

Q 核保有国の動向は。

A 参加のつもりはないようだ。

Q 先進国の批准状況は。

A アフリカ6、アジア・中東8、オセアニア10。

「核兵器は悪」の考え方で、世界的な規範策定の動きがあり、これには核保有国も縛られるものと考え、対人地雷・クラスター爆弾の使用をめぐって同様の例もある。

国連加盟122カ国が賛成、批准は50カ国。日本は核保有国との「仲立ち」との立場。

賛成多数 4・2 ↓ 採択すべき

生活福祉常任委員会

12月8日(火) 委員長 高橋 政喜

議案 湯沢町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、徴収猶予の申請手続き等に関する規定等を改める。

Q 猶予期間を6カ月から3カ月に改めた場合、何人が該当するのか。

A 新型コロナウイルスの特例による猶予の申請は47件、通常の徴収猶予適用はない。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 湯沢町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、軽減判定所得基準の規定等を改める。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 湯沢町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正

新型コロナウイルスに感染した場合の傷病手当の適用期間を、令和3年3月31日まで延長する。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算に417万円を追加し、総額10億9,563万円。保険事業を減額し、基金積立金を増額。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出予算に229万円を追加し、総額1億1,474万円。システム改修と広域連合納付金等の増額。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算から9,000円を減額し、総額9億7,092万円。

Q 人件費減額の要因は。

A 担当職員の変更等に伴う精査。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 病院事業会計補正予算

指定管理協定に基づく令和元年度の損失補填として3,666万円。さらに新型コロナウイルスの影響による収益の悪化を考慮し、9月末時点の経常損失の1/2にあたる2,500万円を前倒しして補填するため、一般会計からの補助金を6,166万円増額。

Q 減収は新型コロナウイルスによるものか。

A 2月以降、外来の受診控えがあり、入院も減ったため収益が減少。9月に持ち直し、10月はほぼ前年並み、年度末の最終的な損失は未定。

請願 高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願

・説明員 南雲昭三

賛成少数 3・4 ↓

不採択とすべき

産業建設常任委員会

12月8日(火) 委員長 田村 計久

議案 湯沢町有林野条例の一部改正

議案 湯沢町部落団体造林事業実施に関する林地貸付条例の一部改正

議案 湯沢町林地等火入れに関する条例の一部改正

3条例とも、条例中の「部落」の文言を「集落」に改める。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 水道事業会計補正予算

収益的支出の配水及び給水費の修繕費を500万円増額。

賛成全員 ↓ 可決すべき

陳情 新型コロナウイルス禍による米価下落対策に関する陳情

賛成全員 ↓ 採択すべき

陳情 自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情

賛成少数 1・5 ↓

不採択とすべき

12月議会

12月16日
本会議最終日

討論と採決

【請願】 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出に関する請願

【反対討論主旨】

南雲 好幸

私も核兵器廃絶を願う。しかし、国連常任理事国はじめ核保有国の庇護下にある国々も署名していない。国連常任理事国以外の核兵器を持つている国も、他国による領土侵害は起きていない。戦後、アメリカの軍勢力が核の傘により守られてきているが、「核兵器禁止条約に署名・批准」することは矛盾しているため賛成できない。

【賛成討論主旨】

佐藤 守正

この条約が発効すると、核兵器が国際法によって禁止され、道義的のみならず法的にも許されないものになる。核兵器を非難し、その廃絶を主張する法的根拠がで上がる。

核兵器は他の通常兵器とは異なり、大国がその特権的な地位を維持するために持つ、いわば戦略的兵器である。122カ国の賛成を得て成立した禁止条約の発効は、世界の市民運動が多数の小さな国々と協力して、

こうした大国の戦略を縛る国際的な規範を作り上げたという点で画期的だ。日本も早く批准してほしいと思う。

【賛成討論主旨】

岸野 雅人

目指すは「核兵器のない世界」。遥かな道のりの中で「核兵器禁止条約」に今賛成すべきか否か、外交と防衛は政府の仕事だ。現時点の手段として「国際条約に署名しない」との選択は、充分に理解する。

しかし核兵器のない世界は（たとえ叶わぬとしても）最終目標であるから、請願に反対はできない。

【賛成多数】

↓ 採択

【請願】 老齢基礎年金の抜本的な改善を求める請願

【賛成討論主旨】

佐藤 守正

2013年以降、毎年のように支給年金額が下がり、年金のみで暮している高齢者を不安に落とし入れている。

国民年金は満額支給でも、月額にしてわずか65,000円、生活保護費以下のレベルだ。厚生年金と合

わせると月額20万円ほどにはなるだろうが、介護保険料や後期医療保険料も天引きされるので、手取りは15万円そこそこになってしまふ。

こういう実態を知る若者には年金不信が芽生え、年金掛け金は納めたくないと思うのも無理はない。

年金の積立金総額は160兆円を超えている。それを国民年金の少額受給者のために使って、年金不信を払拭してもらいたい。

【賛成少数】

↓ 不採択

【陳情】 自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情

【反対討論主旨】

岸野 雅人

「自家増殖を原則禁止」を振りかざし、種苗法改正の取りやめを求めるのはおかしい。

日本の農業を守るためには、海外での「品種登録」と、国内での「種苗法改正」による「厳格な管理」を行う必要を認める。

自家増殖の許諾はごく一部の新品種だけで、料金も低額とのこと。

【賛成討論主旨】

南雲 好幸

米もこの枠に入る可能性。2017年、農業競争力強化支援法施行。農業試験場の穀類の種苗や技術を民間移行促進。「利根のめぐみ」はコ

シヒカリと交配し、日本モンサント株が登録。民間法人に主食穀類を委ね、さらに外国企業の開発登録急増中。コロナ禍で起こった輸出入がストップの場合、生産不可能。緊急事態に備えて食料安全保障上、陳情に賛成する。

【賛成少数】

↓ 不採択

【陳情】 新型コロナ禍による米価下落対策に関する陳情

【反対討論主旨】

岸野 雅人

新型コロナウィルス禍は、国難であり地球的な禍いである。米価への影響は免れないと思う。

陳情のように、2年分の米を大量に買い支えて備蓄・隔離、さらに2021年産米の生産調整をしなければ、なおさら米が余り価格は下がる。また、市場からの隔離も限度がある。

【賛成多数】

↓ 採択



議 員 表 決 結 果 報 告

令和2年12月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
 ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	関田忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄
11月臨時会	令和2年度 一般会計補正予算（第8号）	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
12月定例会	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員及び湯沢町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町税条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町町有林野条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町部落団体造林事業実施に関する林地貸付条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町林地等火入れに関する条例の一部改正	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 一般会計補正予算（第9号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 介護保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 水道事業会計補正予算（第1号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 病院事業会計補正予算（第1号）	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	可	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	新型コロナ禍による米価下落対策に関する意見書	可	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書の提出を求める請願	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出に関する請願	可	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願	不	×	欠	×	○	×	×	×	×	○	○	×
	新型コロナ禍による米価下落対策に関する陳情	可	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情	不	×	欠	○	×	×	×	×	×	×	○	×



Q 荒戸城跡の再整備するのか

たか はし まさ き
高 橋 政 喜 (文責)



&

A

関係機関と協議、整備する

荒戸城跡の再整備と三国街道

質問

荒戸城跡は、城郭がそのまま残る貴重な山城跡として県指定文化財

であることから、雑木等の伐採、本丸から眺められる景観の再整備を要望する。

答弁

荒戸城跡は毎年草刈りを行っている。雑木等の伐採は平成28年度に実施してから行っていない。現地の状況を確認して関係機関等と協議し、実施をする。

質問

県指定文化財の評価は。

答弁

三国街道と、残りは通告がなくわからない。



三俣地区の管理されていない建築物

質問

建築物は所有者が適切に処理するとしているが、その後の県と町の対応は。

答弁

県環境センターでは所有者と連絡を取り、早急に適切な処分をお願いしている。

町では県環境センターに現地の情報を報告するなどしており、所有者との交渉を後押ししていきたい。

質問

環境基本計画のなかに、循環型社会形成推進基本計画の概要の現状と課題として、廃棄物問題の解決とあるが

取り組み状況について伺う。

答弁

現在、物件調査中だが選定は難航している。昨年から県内でグループホームを手掛けている民間事業者が、新たに町にも設置すべく物件調査に着手した。町も事業者に情報を提供し、早期設

伺う。

景観には今後も適切に配慮し、県と共に所有者に対応していく。

答弁



障がい者向けグループホームを

質問

私たち両親がいなくなったら、この子たちは一人で生きていけるだろうか。

そんな障がい者を抱えた両親から、将来の不安、日本社会の受け入れ自立支援の不安などを聞く。町内での設立の

置に向け取り組んでいる。

障がいのある方が、親亡き後も生活が営めるよう支援していくことは大変重要であると認識しており、引き続き空き家等の情報収集に努めて各事業者と協力し、グループホーム設置に向けて取り組む。

Q 苗場山・平標山の自然環境 保全のための協力金は



&

せき
関ただ
忠お
夫 (文責)

A

協議・検討が必要である



質問

苗場山・平標山では、関係する行政機関・民間団体の役割分担と相互協力により登山道の維持管理を行っているが、登山道の総延長が長く、十分な維持管理を行うことができない状況である。

今後多くの登山者の皆さまに、苗場山・平標山の登山道を安全かつ快適に利用していただくために、新たに入山協力金を活用して、これまで以上に適切な維持管理を実施していくべきと思う。

町長はどのように対応していくか考えを伺う。

答弁

現在、町内では平標山・苗場山登山口駐車場の収入を登山道などの維持に充当している。トイレチップはトイレ維持管理に使用している。また、各地域の観光協会が主体となって自然環境保全基金にも取り組んでいる。入山料導入については登山者の安全のために重要である。財源が新たにできるのであれば、とてもありがたい。今後どのような取り組みが

質問

地域の自然環境の保全に必要な費用を登山者にご負担いただくことは、地域資源の持続可能な利用のために大切な方策だと考えられる。

現在、複数地域で入域料が導入されている。今後、山域をはじめとする自然公園への入域料を導入し、登山道の充実や自然環境の保全を促進するために、環境省・新潟県・湯沢町が協力して検討を行う必要があると思うが、町長の考えを伺う。

答弁

自然環境を守るため、しっかりと調査する必要がある。入域料導入について検討していくための勉強をしていきたい。今後、事例を参考に調査していきたい。湯沢町の立ち位置として検討していきたい。





Q DMO 設立後の活動予算は



&

A

なみ き とし ひこ
並 木 利 彦 (文責)

湯沢町観光協会の8,000万円を引き続き予算とする

現況、日本経済新聞社は今年冬のボーナス調査をまとめた。減少率はリーマン・ショック後に次ぐ過去2番目の大きさとなった。

また、新型コロナウイルス禍において感染拡大が危惧される中、ウィンターシーズンを迎える。大手ホテルはすでにGOTOトラベルの恩恵を受けている。宿泊単価の高い宿から予約が

入る。民宿は、年末年始や成人式の連休に期待していたが、新型コロナウイルス感染拡大によって様相が一変している。

今シーズンは、平日のスキーの団体は期待できない。何らかの方法で収益を出さなくてはならない。湯沢町の観光客の受け入れ方、観光のあり方をどのように考えていくのか問いたい。

湯沢町として目指すべき観光振興と観光推進組織再編の方向性（概要版） 2020年3月

近年、湯沢町では外国からのお客様が増加しています。
また、国内のお客様の価値観も大きく変化しています。
このような時代の変化に合わせ、全国で地域の観光推進組織の改革が進んでいます。

2019年度、湯沢町でも観光推進組織の方向性について、観光関係者をはじめ様々な業種の方と検討してまいりましたが、このたび方向性についてまとめましたのでご報告いたします。

なお、詳細な報告書は湯沢町ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。
役場観光商工課窓口には印刷したものもご用意しております。



https://www.town.yuzawa.lg.jp/kurashinohoho/kanko_sangyo_business/1/3325.html

湯沢町復興計画に必要なDMO

「ありがとうのその先へ」は

負け組などない。

質問 全国での新型コロナウイルス禍ではあるが勝ち組の観光地は存在する。湯沢町が勝ち組になれない原因について、

質問 「ありがとうのその先へ」の答弁に責任があるのでは。

答弁 そこだけ切り取られても困る。

※原因は、との質問にそれしか答弁していない

答弁 付けない。新型コロナウイルス禍において、勝ち組・

DMO 設立後の活動予算

質問 同じ額の予算とするならば、同じ活動しかできないのだが。

答弁 状況を見て予算は判断する。

湯沢町の方向性は

質問 サテライトオフィス・リモートオフィス等、湯沢町は力を入れている。

質問 企業誘致や移住定住において、湯沢町の魅力づくりや、湯沢町が他の観光地に負けない目玉が必要になってくるが。

答弁 新型コロナウイルスの収束後も定着する支援は考えているのか。

当然考えている。

答弁 DMOで取り組んでいく。

Q 行政もDMOも、 もっとデザイン重視を & 岸野 雅人 (文責)



A 外部人材登用に賛成。 人材確保が急務



越後湯沢駅西口広場の「ファニチャー」



雪国館横の足湯「かなっくり」の壁面

質問

デザインとは「意匠・設計・創意工夫」だが、目的達成への計画や実現化（構想）などの意味もある。

DMOとは、デザイナーでありディレクターではあるまいか。自ら稼ぎもするし、観光面からまちづくりもする。一方、DMOが機能するようデザインし、プロデュースするのが現在の行政の役割と考える。

DMOに魂が宿るには時間が必要だが、行政やDMOは直ちにデザインを重視すべきと考える。外部に頼む

か、人材を引き抜いてでも対応すべき段階に至っていると感じる。

答弁

外部人材の登用には賛成。DMOには人材確保が急務。整うまでは支援も必要。

質問

デザイン力が大切と考えていると理解するが、実際、人材の登用はどうするのか。

また、デザインの観点から訊く。西口と雪国館の足湯壁面のさらに西口の造形物（ファニチャー）のテーマは

一体何か。

答弁

人材は公募すると聞いている。優秀な人材が来てもらえるようお願い、支援していく。

足湯の壁面は委員会で話し合われ、人が集まるようにと

Q

宅地と一体の小規模農地を
取引しやすく

A

農業委員会に訊き、
できることはする

質問

農家でない人が宅地を求めるとき、宅地と一体に見える狭い農地が接する場合、農地には農業委員会の判断が必要となる。農地取得の目途が速やかに立たないと、移住定住への建築計画や融資に影響する。

農業委員会で協議の上、条件や最大面積などの基準を定め、示せないだろうか。

答弁

農業委員会は、月の10日までの個々の案件を立性、尊重しなければなら

ない。

質問

移住などがしやすくなるよう農業委員会に働きかけてはもらえないものか。

答弁

農業委員会に訊き、できることはする。

Q

新型コロナ禍
対応、現在の
計画は

A

国補助による
PCR検査
助成など



Q 冬に向け、コロナ対策は万全か



&

しら い たか お
白 井 孝 雄 (文責)

A ガイドラインに基づき万全を期す

質問

GoToトラベル等でお客が増加しているが、スキーシーズンを控えて対応策はどのようなものか？

答弁

スキー客等で観光客が増えると思うが、町民・観光客に対してガイドラインに基づき、万全の対策を取る。

質問

去年のスキーシーズン、今年の夏場観光と不振で、もし今年の冬も不振に終わると、湯沢の経済は大変なことになる。

答弁

状況をよく見ながら経済対策を打っていく。町の経済が疲弊することのないようにしていく。

Q

婚活にAIを活用しては

A

しっかりと研究していく

質問

これまでの町の婚活対策は、必ずしもうまく

Q

熊と共存を模索しては

A 研究していく

質問

ここ3年間の熊の駆除数は大変な数となっている。専門家は、地域によっては絶滅してしまう恐れがあると心配している。

答弁

必要最小限の捕獲をし、人身事故がないようにしていく。必ずしも絶滅状況にはないと考えている。

質問

全国各地で共存するための対策が始まっている。湯沢町としても共存できる

いっているとは言えない。今後の対策は。

答弁

出生率の改善をしなればならない。今後自然の出会いができるように町として補助していく。

質問

国も婚活にAIを導入して各自治体の後押し

環境整備が必要なのは。

答弁

町では現在まで人身事故は起きていないが、先進地の事例を参考に、担当部署としっかり研究していく。



熊出没注意

Q

スキー部の部員数増加に力を入れて

A

スキーの楽しさ、面白さを広く教えていく

質問

現在、湯沢中学校のスキー部員数は男子4名・女子2名である。これでは高い山はできない。何とか環境整備をして、部員数を増やす策を講じてほしい。

答弁

それぞれ関係部署に機会あるごとにお話し、部員の増加に力を入れていく。

質問

山川純子さんを迎え、指導体制は少し整備できたが、まだまだお金がかかりすぎるため、支援体制が必要であると思うが。

答弁

育成会を中心に充実を図っていく。



スキー選手支援の自動販売機

Q 湯沢学園の環境整備が必要ではないか



&

た むら かず ひさ
田 村 計 久 (文責)

A コロナ対策を含め 安全対策の確認をする



質問 吹き抜け部分が多く、転落・落下事故の危険性があるが。

答弁 職員に危険個所の確認をし、対策する。

質問 学園出口車両進入路の一部拡幅が、県道交差点に直結する道路の新設が望ましいが。

答弁 拡幅はしない。交差点直結道路の新設は、地元や現場の声を聞き検討する。

質問 学園建築に対し問題が多く、設計の疑問が指摘されている。

適切な検証ができていなかったことと、ほかの事業においても町職員の技術者不足が問われているが。

答弁 職員に技術者が少ないことは内部でも指摘されている。一般募集するか、外部委託するなど検討する。

Q 自然エネルギー、再生エネルギー活用の取り組みを

A 再生エネルギーの活用ができる 施設があれば設置を考える

質問 自然環境を観光の資源とする湯沢町で、自然・再生エネルギー活用に取り組みはない。水力・バイオマス発電などの事業は活用可能である。

子どもたちを含めたチームを立ち上げ、計画実施する考えはないか。

答弁 町では再生エネルギー活用に対し、町民に補助制度を設置している。近隣市町村での取り組みも承知しているが、異常気象を含め環境問題は今後の大きな課題、計画チームは検討する。再生エネルギーを活用できる施設があれば設置を考える。

Q 令和3年度予算の 主要取り組みは

A 政策的には緊縮財政で コロナ対策、危機を乗り越えたい

質問 町の経済の疲弊、税収の減少で先行きが懸念される。雇用情勢も厳しく、次年度は改選の年であるが、町長の進める政策は、緊急事態にそなえ、歳出の

答弁 制限・事業の先送り等、対処が必要であり、コロナ後を見据えた重要な1年になると思うが、町長の考えは、これまで経験のない状況で、昨年度の観光客

入込数363万人を大きく下回ることになる。湯沢町は観光が基本の町。大きな打撃を受けた経済に万全を期し、対処する。

今後の観光客の意向に合わせ、時代に合う政策の展開を議会・事業者・DMOなど連携して進めていく。



沼田市バイオマス発電視察



Q 送迎が必要な人工透析患者への援助を



&

さとう もり まさ
佐藤 守 正 (文責)

A 困難な問題だが、次の課題として考えたい

質問

週3回、南魚沼市民病院へ人工透析で通っている患者で、自分で車の運転ができない人、駅まで遠くて

電車での通院が困難な人は大変な難儀をしている。家族の中で運転ができる人をあてにするしかないのだが、それぞれ仕事を持っていて、おいそれと対応ができない場合も多い。人命に関わることで無理して車を出してもらってはいるが、それゆえの葛藤・トラブルも起きている。

このような条件の患者の実態を調査して、湯沢からの患者をまとめて対応してもらえよう病院と折衝するなどして、町として車を出すわけにはいかないか。

答弁

湯沢町以外の患者もいる中、病院に便宜を図ってもらうのは難しいのではない。

また通院する日は月・水・金曜と火・木・土曜と2つのパターンがあり、仮に町が週に6回送迎するとなると、民間に委託すれば相当な費用がかかる。町が直接実施するに

しても、送迎用の車両や運転者を確保しなければならず、費用面や体制面からも難しい状況だ。

町の次の課題として、自力では路線バスを利用することが困難な方について、有償ボランティアなどを活用した輸送手段を構築できないか社会福祉協議会と協議しており、人工透析のための通院についてもその中に含め、生活支援の一環として検討していきたいと考えている。



退勤時刻後も残って仕事を続ける先生方

Q

教職員の「変形労働時間制」をどう考えるか

教育長

A

導入の予定はない。
条例制定の予定もない

質問

法律が改正されて、学校職場に「一年単位の変形労働時間制」の導入が可能となった。これは、教職員の過重労働を軽減するという理由付けで忙しいときには勤務時間を延長し、夏休みにそ

の分を休めるようにするというものだ。

導入されると先生方の働き方に大きな変化が生まれそうであるが、湯沢学園への導入をどう考えるか。

教育長 答弁

先生方の業務量を削減しないという効果を生まない制度であると文科省自身も言っているが、学校職員の定員が増えない現状では業務量の削減は容易なことではない。また一人一人の勤務時間管理が複雑になるため、教頭を中心とする勤務量が増えることも予測できる。

導入には、私としては慎重でありたいと考えている。

Q 3歳未満児や学童保育の待機児童をなくすため新施設を考えているようだが建設の時期は

わた なべ ち え (文責)
渡 辺 千 恵



A 令和3年詳細設計、令和5年4月スタートの予定



質問 湯沢保険医療センターは、県の補助金でPCR検査や検査専用のプレハブを購入予定だが、町も1日も早く用意ができるよう医療センターと連携していただきたい。

答弁 連携していく。PCR検査は1月中旬には用意できる。
質問 早期発見、感染経路を断つため町民が他県の移動があったとき・帰省したときなど、ある一定の条件は

A 町として感染者が出た場合などの対応シミュレーションを作っているという

Q 湯沢町として新型コロナウイルスの感染者が出た場合の指標が必要ではないか

質問 湯沢学園を建設するときも現場の声を取り入

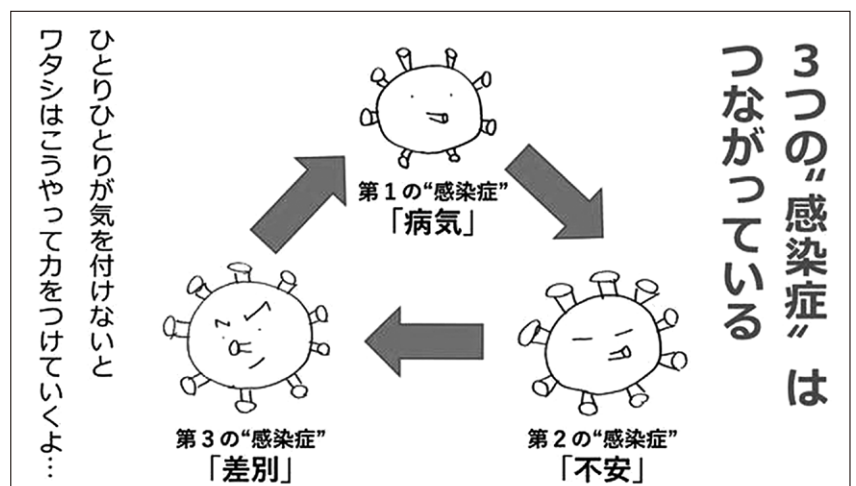
答弁 現在、子育て支援課が現場の声を聞き、意見のキャッチボールをしながら進めている。

質問 現在の建物、新たな建物、今後どのように活用していくのか。
答弁 児童クラブを兼ねた新施設を学園敷地内に建設。現在の支援センターを認定こども園の3歳未満児の施設に使用し、現在の学童保育の場所を教育委員会のスペースとする。

答弁 それぞれの現在の課題を克服していく。
それらの現在の課題を克服していく。
それらの現在の課題を克服していく。

答弁 あるとして希望者がPCR検査をすることはできないか。検査代が少し高いので、町が助成していただきたい。
答弁 湯沢町保健医療センターではまだ受け入れ態勢が整っていない。まず症状のある方の発熱外来を優先するので、検査だけ希望する方への検査は難しい。

とするときに受けられるようにしたいということでした。若い人は無症状の方が多いということから、早期発見、感染の経路を早く断つ、拡大させないために必要と考えます。



コロナの3つの顔

しかし65歳以上の施設入居者に対しては優先的にPCR検査をできるようにする。今後医療センターの体制が整ったら、発熱外来の隙間に検査ができないか検討する。

一般質問を終えて

新型コロナウイルスから始まり、まだ続いている現状。経済を止めず、このウイルスと共存して進むにはPCR検査を町民が必要



Q 基準日以後出生の乳児たちに特別給付を

みや た ま り こ
宮 田 真理子 (文責)



& A 考えていない

質問

特別定額給付金は4月27日を基準日として給付が行われた。出産のタイミングが合わないというだけで給付されなかった方はとてもお気の毒と思う。

通常の妊娠出産でも身体の変化や精神的な不安はあるものである。コロナ禍での妊娠出産は、さらに大きなストレスを抱えるものである。

ある自治体では感染症拡大の影響を受ける期間に、妊産婦であった者に心労を見舞う目的で「乳児応援臨時特別給



付金」を給付している。湯沢町独自に給付を行ってはどうか。

答弁

湯沢町では「すくすく子育て応援金」や「医療費の無料化」など、手厚い子育て支援をおこなっている

Q

婚姻届けを提出する方をさらに祝福するには

A 記念に残るように届けのコピーや写真が飾れる台紙をデザイン化

質問

昨年の12月に
おめでたい届けを提出する方々を、町としてさらに祝福するべく考えるように質した。答弁は有効な方法を検討し、実施に向けて取り組むということであった。進捗状況はどうか。

近隣自治体では市長と記念写真を撮るなど、取り組んでいる。パネル等と合わ

せて考えてはどうか。

答弁

町からの祝意をどのようにしたら伝えられるか検討を重ねてきた。

記念に残るものと考え、届けのコピーや写真が飾れる厚めの台紙を、若手職員の感性を生かしデザイン化しているところである。できるだけ早く実施したい。記念写真等は考えていく。

事情があったとはいえ一年たってしまったことはお詫びする。

Q

児童虐待防止の取り組みは如何か

A

児童虐待のない町を目指す

質問

湯沢町では、地域・福祉・保育・教育・医療の連携で実態を把握していると認識している。

町民に児童虐待防止について意識を高めていただき理解を深めていただくために、「ダイヤル189」のさらなる周知をしていただきたい。

答弁

町民が集まる場所にポスターを貼り、広報でも周知をしている。

今後も担当部署やジャンプラネットと共に、児童虐待のない町を目指す。

Q 大堰水路に雑木や枯葉を流し込む 山からの水害を防止する施策伺う



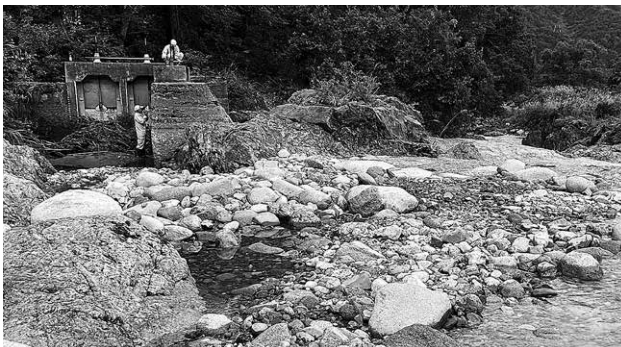
&

な ぐも よし ゆき
南 雲 好 幸 (文責)

A 町ができるところは 対応していく



万年橋：崩れた堰堤に集中する水の流れ



上写真右端の水門に詰まる大量の土砂

山からの土砂流入防止は
町の治山治水ではないか

質問

町道の途中にある橋の数メートル上流に小さな沢があり、その水を排水する側溝が埋まっている。大雨が降るたびに、この沢から出る水が土砂や雑木・枯葉等を水路に流し込み、JR線路下をくぐるサイフォンを守るゴミ取り柵を詰まらせる。そこから町道に落ちて踏切に流れ出ると、電車を止めてしまう

恐れがある。

この対策と責任は「大堰組合」だけで負えるものではない。山からの土砂の流出や町道管理は町の責任でもある。町の考えを伺う。

答弁

排水路のことは承知していなかった。現場を見た上で、町としてできることは対応していかねばならない。

堰場松川線は、下水管理設工事が
始まると使用できない

質問

町道堰場松川線は通行止めであるが、自己責任で利用を許可され、万年橋にある大堰取水門管理を行っている。

松川浄化センターが湯沢浄化センターに統合されるため、

この道に下水管が埋設される。この工事により使用不可の場合の代替措置を伺う。

大堰の管理に支障がないよう大堰組合と連絡・調整し、作業ができる体制にしたい。

答弁

魚野川の河川改修については、県や湯沢砂防に働きかけてきた。検討を行っているとのこと。今後とも要望を続ける。

大堰の取水は、湯沢地域にも
影響している

質問

万年橋の河床の変化が激しく、水門への土砂の流入が増加。この1年間で手作業にての砂利撤去は5・6回、重機による土砂撤去は9回に及ぶ。昨年12月議会で「河川管理者の県や湯沢砂防事務所に対し、要望をしてゆく」と答弁。大堰取水は戸沢川から石白町内と一之町・上中地区に上がり、さらに大門堰へと利用されている。これらの状況と、万年橋の水道管を守るために土砂を移

動させ、流れの変化を余儀なくされた町の責任を踏まえ、土砂撤去などの協力を要請したい。

答弁

魚野川の河川改修については、県や湯沢砂防に働きかけてきた。検討を行っているとのこと。今後とも要望を続ける。

災害などにより土砂が水門を塞いだ際、町としての協力を考えていく。県や砂防事務所とも協議しながら取り組んでいく。



Q 町内の消費喚起と町民の生活支援のためにプレミアム商品券の発行を



&

A 今後の経済状況を見極め適切に判断したい

なぐも 南 雲 正 (文責)



駅前広場の様子



年末年始の越後湯沢駅

質問

新型コロナウイルス感染症対策としての湯沢町独自の救済措置は、町の基幹産業である観光産業を中心に、すでに4項目の救済事業を展開し、さらに2月以降の観光客の来訪促進のための観光振興券事業を予定している。しかし、終息の見えないコロナ禍の影響は、観光と直接の関連が薄い町内の事業者や町民にも押し寄せている。

公平性の観点からも、町民が等しく恩恵を受けられるよう、町内の消費喚起と町民の生活支援を目的とし、プレミアム率の高い商品券を発行する必要がある。

ちなみに、近隣自治体ではプレミアム率100%や50%を上乗せしてプレミアム商品券が発行されているが、町長の対応を伺いたい。

質問

国の交付金等がコロナ禍の影響を受け、制度設計や対応の遅れによって交付決定に至らないケースが生じているようである。

事業がすでに終了しているケースもあり、支払いのために借入金等の対応が必要になり、団体の運営に支障をきたすこととなる。

町の予算に計上された事業は、国の交付決定を受けた後の交付となるのが通例であるが、町民に寄り添った町政運営の観点から、事情を勘案

Q

コロナ禍により国の交付金等の交付遅れに対する対応策を

A

国の交付決定の遅れにより支障が生じる場合は、国県に積極的に働きかける

答弁

経済対策として、多くの町村で商品券事業が実施されている。町でも一人5,000円の飲食・商品券を全世帯に配付し、換金率は95.5%となり、経済対策と

して一定の効果があつた。まもなくスキーズンとなり、繁忙期を迎えることから、今後の感染状況や経済状況を見極め、適切に判断したい。

して早急な対応が必要であるが、町長の考えを伺う。

答弁

国の交付金は町を経由して実施団体に支払う場合は、国の交付決定を受けてから実施団体に支払う流れであるが、通常の年度よりも事務全体の流れが遅れているケースも見受けられる。

国の交付決定の遅れにより事業実施や町民生活に支障が生じることが想定されるケースが発声した場合は、国県に積極的に働きかけて対応したい。

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

10月14日(水)〈第9回〉

認定こども園・湯沢学園・給食センター

湯沢学園の感染症対策と現状、学校給食の現場と試食

3班に分かれて、認定こども園・児童クラブ及び湯沢学園を視察。その後、給食センターの視察及び給食の試食。

11月10日(火)〈第10回〉

国際交流事業の今後の計画と課題

令和2年(対象7・8年生) 中止。令和3年は対象8・9年生。新型コロナウイルスの影響で実施は厳しい。

2年中止の場合、ホストファミリーの扱いをどうするか心配。実施の場合、引率専門員の対応が必要。歓迎とお別れパーティーの見直しも必要。

子育て世帯の生活実態調査の活かし方

交付金を活用し、平成30年度に調査、令和元年に係僚部署に結果を配布し検討、取りまとめを実施。

来年度予算の編成方針とスケジュール

新型コロナウイルス禍、特異な状況下での方針となった。

屋内児童遊園の指定管理状況と課題

指定管理は一般財団法人湯沢町総合管理公社湯沢カルチャーセンター。コロナ禍影響大。空気清浄機及び飽きられないための遊具の更新検討中。

きら星(株)への委託事業の概要

3年間は交付金を活用。それ以降は成果をみて検討。エンゼルグループの投資、きら星(株)の支援で「暖炉の家」を起業スタートアップ拠点に町のサテライトオフィスと合わせ報道発表。



旧中央保育園を活用した、きら星(株)

十日町市との裁判経過

8月27日、第1回□頭弁論で十日町市は棄却を求めた。調停がなかったため論点の整理がされていない。第2回□頭弁論は12月24日。

地方創生事業の委託先(きら星(株))視察研修と意見交換

旧中央保育園を賃貸しリノベーションして活用。人材派遣、就業斡旋、起業支援、不動産賃貸、交流イベントの受託開催。「社会問題解決ベンチャー」企業として、移住サポートに関する立案・実行、窓口、プロモーションを行っている。

生活福祉常任委員会

10月28日(水)〈第7回〉

湯沢病院の新型コロナウイルス対応と今後の方針

PCR等を希望する方の検査は行っていない。症状や問診などから医師が判断。PCR検査はこれまでに20件、抗原検査は6件。いずれも陰性。

陽性者が出た場合、保健所が入院先の割り振りを行う。魚沼基幹病院が感染症指定医療機関。

生活保護の現状

生活保護の目的・種類、決め方、生活保護費の例、相談・申請窓口、生活保護世帯数、町の対応等を説明。

配食サービス事業の実施状況

事業内容、9月末時点での実施体制について説明。

介護予防事業の実施状況

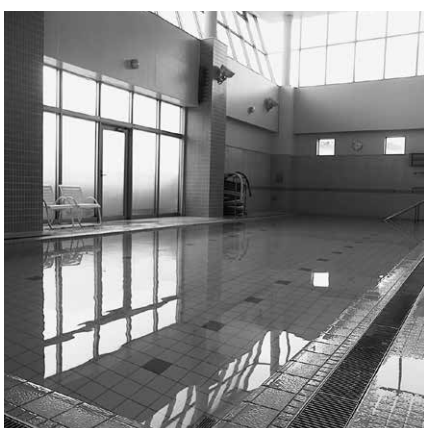
新型コロナウイルス以降の経過、現在の参加者の状況等を説明。

町税等の徴収状況

町税の調定及び収入、前年との調定額の比較について説明。徴収猶予が徴収率に影響。

健康増進施設(プール)視察

健康増進施設に移動し、プールを視察。



様々に活用されているプール

産業建設常任委員会

10月12日(月)〈第9回〉

観光客の入込状況と町経済状況及び冬季観光政策

入込状況は4月～9月間の対前年比33.5%で66.5%減。宿泊者数は観光協会調べで、合宿や団体客がないため前年度比4割程度。冬季観光政策は、湯沢町観光協会が企画中。

DMO進捗状況

第3回委員会は事業内容と財源に

ついて議論。第4回で組織とガバナンスについて議論。

11月 DMO形成計画の提出↓令和3年3月 新体制の設立↓4月1日より活動↓DMOの認定

これらの経過に合わせ、スノーリゾート形成計画も進めていくとのこと。

農産物の作柄状況と鳥獣被害

北陸農政局9月15日現在の作柄概況は北陸全体予想収量10a当たり532kg、作況指数103。魚沼地方

の作況指数は107で10a当たり予想収量は545kg。湯沢町の予想収量は420kg。

有害鳥獣駆除で10月7日現在の駆除頭数の説明。熊の捕獲・出没状況と注意広報活動報告。

令和元年度豪雨による農業用水路被害の復旧状況

台風19号による農業関係被害状況・復旧状況の説明を受け、現地において詳しい説明を受ける。

マス止まり遊歩道整備

遊歩道の工事進捗状況と駐車場・トイレの今後の工事計画説明を現場にて受ける。



夏のマス止まり

産業建設常任委員会 管外視察

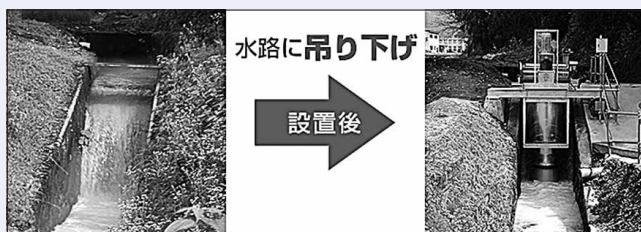
10月26日
富山県魚津市

視察先

株式会社 北陸精機

100kw以下の小水力発電の視察。今回の視察は「道坂農水」利用の発電所。

特徴は、
・発電装置を水路に直接設置できる
・低落差、小流量で発電効率が高い
・装置価格が安い等の説明あり。



水路に吊り下げ

設置後

視察先

津南町「雑水山第2発電所」

ゾウミズヤマ小水力等発電視察

農林振興課より

- ・事業完了までの流れ
- ・事業概要
- ・施設概要
- ・除塵機実証試験
- ・今後の課題について説明



視察先

群馬県沼田市

シンエネルギー開発株式会社

視察目的

再生可能エネルギーの急速な普及・拡大が極めて重要な課題となっており、木質バイオマスを中心に火力発電を行っている会社を視察し、当町にもバイオマス発電の有用性について模索する。



湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会

11月12日(木)

説明出席者

- ・湯沢高原(株) 島崎総支配人
滝沢副支配人
- ・日本ケーブル(株) 森谷常務取締役
- ・NCR(株) 納富執行役員業務部長

湯沢高原(株)からの契約変更に向けての要望

- ① 契約年数10年に延長
 - ② 契約施設料の上限設定
(上限額2,500万円)
 - ③ 前期の赤字及び今年度赤字について累積欠損金解消に関する対応
- 湯沢高原をさらに魅力的にし、地域の観光経済に貢献できるように取り組んでいくので、理解いただきたい。

主な質疑

Q 10年にすることで、安定した雇用と従業員の技術力も上げていけると理解してよいか。



将来のことを考えなければならない湯沢高原ロープウェイ

A 継続的な雇用で技術者の技術力もアップできる。また上限を設けることで収益を上げ投資をしていける。

湯沢高原の運営と契約のあり方について

- ・10年は妥当かと思う。
- ・契約については今の形が現実的。

議会活動日誌

9月30日～10月1日

11月2日

9月30日	新潟県町村議会議長会議 会議(田上町)	11月2日	議会運営委員会 湯沢町地下水対策委員会 全日本スキー技術選手権大会第1回組織委員会・実行委員会
6日	議会広報常任委員会	4日	湯沢町地下対策委員会 全日本スキー技術選手権大会第1回組織委員会・実行委員会
8日	南魚沼市消防審議会 (南魚沼消防本部)	5日	第7回臨時会 第11回議員全員協議会
12日	産業建設常任委員会及び管内視察 (マスどまり遊歩道他)	9日	新潟県町村自治に関する研修会(新潟市)
13日	議会広報常任委員会	10日	町村長と町村議長との意見交換会(新潟市)
14日	総務文教常任委員会管内視察(湯沢学園)	12日	湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会
16日	議会広報常任委員会 南魚沼合同除雪出動式及びニイガタ除雪の達人選手権	18日	青少年問題協議会
20日	南魚沼合同除雪出動式及びニイガタ除雪の達人選手権	25日・26日	第64回町村議会議長全国大会及び議長全国研修会・実行運動・議長協議会(東京)
24日	教育フェスティバル学習発表会・合唱コンクール 産業建設常任委員会視察(富山県魚津市・津南町)	30日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合例月監査(八色園)
26日	産業建設常任委員会視察(富山県魚津市・津南町)	12月2日	産業建設常任委員会視察(群馬県沼田市)
27日	富山県砺波市議会議員視察 国道353号県境開設促進協議会監査	4日	議会運営委員会 議会広報常任委員会
28日	生活福祉常任委員会及び管内視察(健康増進施設)	7日	議案勉強会
29日	産業建設常任委員会 新潟県町村議会議長会議 後期研修会(新潟市)	8日・16日	第8回定例会(9日間) 湯沢高原スキー場安全祈願祭
30日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合例月監査(八色園) 都市計画審議会	15日	湯沢高原スキー場安全祈願祭
		16日	第12回議員全員協議会 魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査(八色園)
		23日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査(八色園)



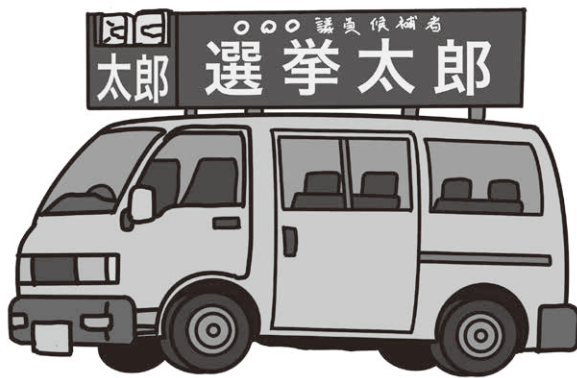
議員全員協議会

11月5日(木) 臨時会後

総務部

町議選・町長選費用の公費負担

なり手不足などの解消へ向け、法律が変わり、選挙公営の対象が拡がります。条例を12月議会に上程。



産業観光部

DMOへの進捗状況

10月29日の産業建設常任委員会とは違いを感じる説明でした。湯沢町観光協会が定款を変更してDMOになる。

令和3年度からスタートし、以降3年かけて体制を整え「魂」を入れていく計画で、初年度は越後湯沢温泉観光協会の『支部化』から取り組むことになる。

その他

議員の賞与の削減

人事院勧告に歩調を合わせ減額。

全日本スキー技術選手権大会

全日本スキー連盟(SAJ)からは『湯沢町に迷惑はかけない』とのこと。

12月16日(水) 定例会後

速報

産業観光部

DMOへの進捗状況

産業観光部長と、一般社団法人湯沢町観光協会の小林会長・岡副会長より、DMO設立への考え方と経緯・計画と現状を聞いた。

新型コロナウイルスにより一時停滞はあったものの、新組織への移行へ向けて様々な準備が進められている。年度末に「形成・確立計画」を提

出し「候補DMO」となり、後に「事業報告書」を提出し認められて「登録DMO」となる。

議員からは、組織作りや人材の公募、設立後の方向性などの質問や要望があった。

総務部

避難行動マップ

議員の一般質問での提案による、ご家庭に掲示できる「避難行動マップ」製作の方向が示された。来年度予算で地区別に。

議員からは、B3版でやさしい日本語を、などの要望があった。

ただ、災害対応の行動は多様であるから、誤解のない記述に配慮する。

地域整備部

町の除雪計画

たまたま大雪の日。昨年の除雪実態、今年の計画・略図などの説明を受けた。

議員からは、除雪の実態や配慮、さらに「第2融雪」についての質問と要望があった。



その他

申し合せ事項の見直し

執行部の議案提出に關しての事項の確認と徹底、さらには人事や契約案件の際の添付する資料の内容についての約束事を確認した。

湯沢町議会議員による ホームページをご覧ください



<https://yuzawamachi-gikai.com/>

- ・各議員による情報発信の活性化を図ります。
- ・各議員の情報を掲載し、各議員の情報媒体へリンクする計画です。
- ・町への要望・ご意見をうけたまわります。
- ・議会の月間スケジュールを掲載する予定です。
- ・簡易Webアンケートが実施できるよう検討中です。



厳しい環境下でも湯沢町観光の振興を

昨年4月7日に緊急事態宣言が発令、5月25日に全面解除がなされ、「経済活性化と新型コロナウイルス感染拡大の防止」を両軸にしながら徐々に人々の動きが活発になってきました。その時期である6月に、県や国の観光施策を湯沢町で活用していくために「観光戦略アドバイザー」として着任いたしました。

「マイクロツーリズム」という言葉が始め、自分たちの地域の良さを再確認しながら出かけようという動きとともに、6月より新潟県民宿泊割引キャンペーンが行われました。首都圏からのお客様が多い湯沢町では県内へのPRも行いながら、7月22日よりスタートしたGOTOトラベルに多くの宿泊施設に参画してもらい、国の施策を有効活用していくことに焦点を絞り活動してきました。

来春より湯沢町の観光推進に関わる組織が大幅に変わることを受け、特に湯沢町役場観光商工課と湯沢町観光協会が連携を強化しながらGOTOトラベルに関するサポート体制を整え、地域勉強会等を通しての参画促進や宿泊プランの磨上げ、不安解消への電話や直接相談などを行っています。現在、GOTOトラベルが一時停止となり、制度変更も多く現場の混乱や疲弊も相当なものです。最新情報を共有しながら、宿泊施設のサポート及び湯沢町の観光活性化に役立てるよう活動していきたいと考えています。



湯沢町観光戦略アドバイザー
南雲 純子

編集後記



12月16日が議会最終日。関越道はその夜から二晩の立ち往生。雪ごつたことで、町民の皆様が心身ともに消耗されましたことに、心からお見舞い申し上げます。

編集委員の作業は、12月3日議会開催案内の印刷・発送から始まります。議会後（自身の一般質問のまとめの他）原稿作成の担当を委員長から告げられ、それらのメ切りが25日。

1月6日に初校を見て、編集会議は8日。様々に検討が始まります。対応を決めて依頼や分担、そして印刷会社さんに変更を伝達します。

第二校を見て18日に会議。さらに22日に第三（最終）校を経て、印刷・製本、新聞折り込みは1月31日。

ちなみに、広報委員の作業に対する費用弁償は

交通費のみです。

費用や全体構成など課題はあると考えていますが、楽になったのは一般質問の『文責（本人の責任）』です。

読まれる以前に、まず手に取って見る気になるような「議会だより」づくりが基本です。見た目や内容の向上が図れるよう工夫し続けませんが、皆様からのご意見賜れば幸いです。

編集委員 岸野雅人

議会広報常任委員会

委員長	南雲 好幸
副委員長	並木 利彦
委員	渡辺 千恵
	和田 一郎
	高橋 政喜
	岸野 雅人